

「冬来たりなば、春遠からじ」春の足音が聞こえてきます...

日に日に朝日が昇る時刻が早くなり、光の強さも増してきました。季節は確実に冬から春へ移り変わろうとしています。表題の言葉を聞いたことはないでしょうか。「西風に寄せる頌歌(しょうか)」の中の一節“If winter comes, can spring be far behind?”この意味は「つらい時期を乗り越えれば、よい時期は必ず来るといふこと」だそうです。今、3年生は受検に向けて、1・2年生も学力テストや各種コンテスト、期末テストに向け、学習に取り組んでいます。もうすぐ進学・進級です。そのために、つらい時期を乗り越えて行きましょう。そこから逃げていると、明るい春は訪れてくれません。

不思議に思ったことはありませんか。「2月はなぜ28日しかないの?」

今年度もあと2ヶ月を残すばかりとなりました。みなさんは「なぜ、2月だけ28日しかないの?」と考えたことはありませんか。実は2つの理由があります。

- ①元々は今の2月が1年の最後であったため、調整に使われた
- ②更に皇帝のわがままでのせいで、8月に1日取られてしまった



以前、ローマでは暦は農耕のためのものでした。だから、3月スタートとなりました。現在の形を定めたのはローマの独裁官ユリウス・カエサル(英名:ジュリアス・シーザー)です。奇数月を31日、偶数月を30日とすることにしました。3・5・7・9・11・1月が31日、4・6・8・10・12・2月が30日です。すると1年が366日になります。そこで、最後の2月を1日減らし、29日としました。後継者の皇帝アウグスタスは、自分の誕生日8月が30日しかないことを不愉快に思い、2月をさらに1日削り28日、8月を31日にしました。

このように2月は最も短い月となりました。この貴重な期間に、卒業証書授与式の準備、新入生を迎える準備、上の学年に進級する準備をしなければなりません。3年生は上級学校へ進み、2年生は学校の看板となり、1年生は学校の中心を貫く柱になっていかなければなりません。前年と同じことに満足せず、常に高みを目指して行動していきましょう。

小木の春の伝統行事、とも旗祭りの歴史を学びました。

2年生が、総合的な学習の時間で伝統行事である「とも旗祭り」の歴史や由来を学習しました。また、今回は残念ながら、柳田中学校がインフルエンザのため、交流しながら制作を進めることはできませんでしたが、地域の方々の指導の下、とも旗づくりがスタートしました。子どもたちの汗と気持ちがこもった素晴らしい旗に仕上がることを期待、いや確信しています。

(1) とも旗の歴史講話

- ①日時 平成31年1月23日(水)5限目
- ②講師 小木公民館 上見 純二 館長
- ③場所 小木中学校多目的教室
- ④内容 「とも旗」の名前の由来が船の艫(口、とも)からきているのではないかとのお話があり、生徒たちは興味津々に聞き入っていました。はじめの頃は、小さい伝馬船の後ろに竹の棒に旗を立てて、艫をこいで湾の中を回っていたそうです。それが次第に大きくなり、今では20mを超えています。それをエンジン付きの大型船で引っ張って行われるようになりました。かつて子どもがたくさんいたころは、番屋に泊まって作業し、子ども同士がコミュニケーションをとり、伝統を伝えていったそうです。また、九十九湾というリアス式海岸で静かな海ということもあり、海上の祭りに向いていたのではないのでしょうか。



<上見館長さん>



<浜風会 林生一郎さん>

(2) とも旗づくり

- ①日時 平成 31 年 1 月 29 日 (火)
5~6 限目
- ②講師 浜風会 (下浜町内会)
- ③場所 小木地区活性化センター
- ④内容 春祭り紙継ぎ・小旗継ぎ・
ベタ金作り



地域の方々から、「うまいぞ!」「自分たちの旗なんで、好きなようにやれ」など励ましの言葉を次々とかけてもらい、参加した生徒たちは日頃は見られないほど、積極的に参加していました。紙継ぎは 90 段にもなるので、曲がらないで貼れるかどうか冷や冷やものでした。しかしながら、お世話をして下さる年配の方々には新しい孫でもできたように、楽しそうに生き生きと教えて下さいました。やっぱり、子どもは地域の宝です!

社会人講話 漁業と共に歩む町「小木」

蟹豊文氏を講師にお招きし、社会人講話を開きました。「現場も知らなくてはならない」という強い意志によって、実際に 40 日あまり乗船され、漁をされた貴重な体験をもとに講話をしていただきました。

- ①日時 平成 31 年 1 月 30 日 (水) 5 限目
- ②講師 蟹豊文氏 (徳洋水産専務) ③場所 多目的教室
- ④内容 小木の漁業と国際交流について



<蟹 豊文さん>

北海道の西に浮かぶ利尻島を朝日の中で見るとは、陸地からはできません。朝日の中の利尻富士は絶景でした。次に、実際のレーダーの映像やイカを釣り上げる映像を見て下さい。次々にイカが釣れると感動しました。明るく輝く集魚灯は 1 隻で 250KW もあります。その明るさのため乗組員は顔や首を布で覆っていないと火傷してしまいます。また、日本船の集魚灯に集まってくるイカを横取りするために、周囲に北朝鮮の木造船が大挙して押し寄せています。「もし接触したら大変なことになる。」とすごく緊張しました。漁船には 3 名の漁業実習生のインドネシア人が乗っています。彼らはとても誠実に真面目に働きます。いろいろな場面で助けられました。また船内では、必ず船の一部に触れていないと転倒してしまいます。だから、食事をとるときの姿勢は肘をついて少し行儀悪く見えます。外国人の力も借りながら漁業は成り立っています。小木の町は船が来れば、いろいろな面で活性化します。そのことを理解して下さい。最後に、若い乗組員に必ず伝える言葉があります。1 つめは、「自然をなめるな」ということです。自然は容赦してくれません。2 つめは「チームワークを大切に下さい」です。限られた船内で、最も大切なことは良好な人間関係です。みなさんも、この 2 つのことを理解して、成長して行ってください。

日	曜	主な行事予定	日	曜	主な行事予定
1	金	私立高校一般入試	17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	
4	月	中学校説明会・体験入学 (小木中)	20	水	3 年生期末テスト①, 1~2 年学力テスト①, 小中連絡会
5	火		21	木	3 年生期末テスト②, 1~2 年学力テスト②, 公立高校志願者数公表
6	水	生徒会委員会・立志式 (2 年生コンセルのと)	22	金	3 年生期末テスト③, 読書の日
7	木	第 3 回メンタルトレーニング・社会重要語句テスト	23	土	
8	金		24	日	
9	土		25	月	職員会議, 公立高校出願変更期間
10	日		26	火	
11	月	建国記念の日	27	水	1~2 年生期末テスト①, 公立高校出願者数確定
12	火		28	木	1~2 年生期末テスト②
13	水		3/1	金	1~2 年生期末テスト③
14	木	公立高校出願開始			
15	金	小木地区防災の日			
16	土	日本航空高校石川卒業式			

2月の行事予定

公立一般入試 3 月 6 日 (水)~7 日 (木), 卒業式 3 月 8 日 (金), 合格発表 3 月 14 日 (木), 修了式 3 月 22 日 (金)

